

BRIDGE (Building Resources In Diversified Global Education)

～国際教育の理論と実践を学ぶワークショップ～

「多文化共修」の意義をあらためて考える

主催 BRIDGE Institute

(代表 堀江未来)

これからの大学の国際化を支える一つの柱として、「多文化共修」が注目されるようになり、より広範囲での実践も始まっています。私たち BRIDGE Institute ではこれまで、「多文化（間）共修」として、文化的背景が異なる学生同士の学び合いを促す場づくりについて研究や実践を進めてきました。今回のワークショップでは、「多文化共修」実践に焦点をあて、私たち教職員一人ひとりにとってのその実践の意義を掘り起こしつつ、その枠組みにおいて「異文化に触れて学び成長する人」をどのように支援していけるのかを広く捉え直します。そして、それぞれの実践場面や文脈に応じた取り組みや、多様なアプローチの可能性について考えていきます。

これからますます広がっていくことが期待される「多文化共修」について、教育実践者としての思いにいったん立ち帰り、その本質的な意義について多様な参加者とともに考えてみませんか。例年どおり、全体を通して参加者間の対話や学び合いを大切にしながら進めます。みなさまのご参加をお待ちしています。

記

【日時】2026 年 3月8日（日）9:30 - 17:00（9:15 受付開始）＊終日参加をお願いします。

【会場】南山大学 R 棟 5 階 56 教室

【定員】30 名（先着順）

【対象者】小学校・中学校・高等学校・大学、その他団体・企業等、多様な教育実践現場で国際 教育の企画・運営に関わり、学習者の学びをより充実させたいと考えている方、または、これから国際教育分野でのキャリアをめざす方

【使用言語】日本語

【参加費】10,000 円

【情報交換会】研修会終了後 17:30 頃より、南山大学キャンパス内にて情報交換会（参加費 4,500 円程度）を行います。参加を希望される方は、ワークショップ参加申込フォームから申込をしてください。なお、参加希望人数によってはキャンセルになることがあります。

【事前課題】事前に「国際教育で育む異文化感受性：多文化環境での対話的で深い学びのために」（学文社）を

入手の上、目を通してください。ワークショップでは、「第1部 基礎と理論」（第1章～第4章）の内容を前提に議論を進めます。「第1部 基礎と理論」に関わる内容で、特に理解を深めたい点や気になった部分について、事前にアンケートでお尋ねする予定です。

【2025年度 BRIDGE Institute メンバー（☆：当日運営予定メンバー）】

秋庭 裕子（東京学芸大学）	平井 達也（明治大学） ☆
東 侑希（立命館大学） ☆	藤井 基貴（静岡大学）
大野 さゆり（TOKYO PLAY）	筆内 美砂（立命館アジア太平洋大学）
小野 詩紀子（南山大学） ☆	星野 晶成（名古屋大学）
川平 英里（教育系フリーランス）	堀江 未来（立命館大学） ☆
古賀 恵美（日本国際協力センター） ☆	松本 哲彦（東明館中学校・高等学校） ☆
近藤 祐一（元立命館アジア太平洋大学） ☆	Liang Xiaoxian（立命館大学） ☆
佐間野 有希子（立命館アジア太平洋大学） ☆	力丸 晃也（立命館アジア太平洋大学）
高木 ひとみ（名古屋大学） ☆	

【参加申込み手順】

1. 申込みフォームにて必要事項を記入し送信してください。

<https://forms.gle/uHqJqejvE4di6cyV9>

2. 事務局から申込み受付完了及び参加費振込方法のご連絡をします。お返事に数日かかる場合があることをご了承ください。なお、返信が迷惑メールフォルダに入っている場合もありますので、ご確認ください。
3. 後日、事前アンケートについてメールでご案内しますので、ご対応をお願いします。

【参加申込受付期間】2026年1月16日（金）10:00～2月13日（金）17:00

* 定員になり次第受付を終了します。

* 直前の参加者人数の変更は、グループでの協働学習などを多く含む本ワークショップ全体の進行に多大な影響を与えます。やむを得ずキャンセルされる場合は、お早めにご連絡をお願いします。キャンセルされる場合においても参加費の返金はありませんのでご了承ください。

* 本ワークショップは、以下の科研費および研究支援プロジェクトの一環として実施します。なお、研究目的のため、ワークショップ全体を録画・録音します。個人が特定される形での公開はいたしません。

基盤研究（B）「ブレンデッド・ラーニングによるグローバル人材育成の理論的・実践的研究」課題番号：
21H00840

基盤研究(B)「『大学の国際化』を担う専門教職員の養成メカニズムに関する国際比較研究」課題番号：
20H01695

Ritsumeikan Advanced Research Academy (RARA 立命館先進研究アカデミー)「『DEI 教育』研究の拠点

体制構築」

【問合せ先】 BRIDGE Institute 事務局 applygobridge@gmail.com